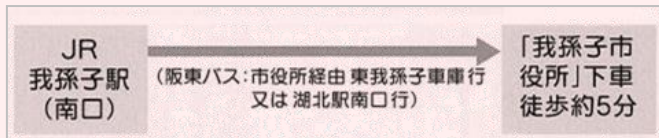


# 美しい手賀沼を愛する市民の連合会 総会記念講演会

今年の講師は、美手連会員団体「我孫子の文化を守る会」のお二人に、長年得られた豊富な知見に基づいて手賀沼に関わる興味深いお話をさせていただきます。

日時：2017年6月10日（土）14：30～16：30（開場14：15）

会場：手賀沼親水広場 水の館 3階 研修室



定員：50名

参加費：無料

問合せ：美しい手賀沼を愛する市民の連合会

八鍬 TEL 090-5217-6699



(撮影 間野吉幸さん)

## 「手賀沼の桜－その現状と未来－」 講師：村上智雅子さん

(講師プロフィール)

2015年まで、私立高校教師。最近では白樺派作家や新田次郎の文学研究、沼南の弁栄上人や手賀沼遊歩道の桜などの郷土史研究などに励む。「我孫子の文化を守る会」幹事。

(講演概要)

手賀沼の景観的側面や生物学的な側面から見ても、今、手賀沼の桜の考察は必要とされている。我孫子の手賀沼遊歩道（手賀沼公園からフィッシングセンター付近まで）の桜は、市政発足の時から漸次植えられて来た。種類も開花期も異なる約20種500本の桜は、毎年花開き市民に憩いと安らぎを与えている。

対岸の柏市「手賀沼自然ふれあい緑道」では、早咲きの河津桜が30数本植えられている。大津川が流れ込む「ヒドリ橋」付近では春一番の花見ができ、近年訪れる人が多い。

昨年我孫子では桜プロジェクトを立ち上げ、市民の寄付金を募り新たに手賀沼周辺と市内各地に8種類72本の桜を植樹した。

こうした手賀沼をめぐる桜の現状とその未来図や水辺の桜の生態などについて語りたい。

## 「我孫子駅に降り立った文士たち」 講師：越岡禮子さん

(講師プロフィール)

我孫子市寿在住。郷土史を学ぶ市民グループ「クリオ」や「我孫子市史研究センター」「流山市立博物館友の会」等の会員。その調査、研究をまとめた執筆活動のかたわら、「我孫子の文化を守る会」「江戸東京散歩会」「我孫子文士村ガイド」などで広く史跡散歩の案内人も務めている。

(講演概要)

大正期の我孫子は白樺文士の存在が広く知られていますが、明治29年12月に我孫子駅が開設されと、都心からも近く風光明媚な手賀沼や名刹布施弁天を訪ねて多くの文士たちが降り立った。今回は我孫子来訪が代表作につながった文士を許された時間内で紹介します。

<大町桂月、長谷川伸、円地文子、水原秋桜子、北畠八穂、深田久弥など>